

参与作品

深見けん二

鳥帰る

ちぎれたる枯葉を啣へ薄氷
巻き込まるばかりに野火の立上り
杖を曳く翁となりて雛売場
夕月の光りそめたり梅匂ふ
家々の遅速はあれど梅日和
開き初むこの白さこそ花辛夷
掃かぬまま庭にふえゆく落椿
掌に余り蕊を立てたる落椿
取水塔朝日に染まり鳥帰る
淡海を一望の窓鳥帰る